

楠根ため

(くすねため)



全景



堤体の様子



池の畔に咲くシデコブシ

ため池の概要

ため池の所在地

三重県三重郡菰野町

ため池の特徴

楠根ためは、明治時代に湧き水を利用して築造されたため池で、周辺一帯は「田光のシデコブシ及び湿地植物群落」として、国の天然記念物にも指定されています。

シデコブシは、日当たりの良い湿地性の丘陵地などに特異的に分布するモクレン科の落葉性の小高木で、500万年前からの原初的形態で伊勢湾周辺のごく一部の地域にのみ生育します。薄桃色の花を咲かせますが、当地では特に赤色の花が他に類を見ないものとなっています。

シデコブシとため池がマッチングした山里の雰囲気は幻想的で、独特の雰囲気を醸しだし、神々しさも感じさせています。

また、シラタマホシクサなど東海地方特有の植物をはじめ、ミズギクなどの氷期遺存種的な植物やカザグルマ、トキソウ、モウセンゴケ類などの湿地性の希少植物が生育し、ムカシヤンマなども確認されています。

この希少な生態系を守っているのが楠根ためであり、湧き水や周囲からしみ出す水を集めて群落全体に適度に水を供給し、自然環境のバランスを保つという大きな役割を果たしています。

町では、生物多様性の観点から池を「日本の自然環境保全の発信池」として位置付け、「田光の資源と環境を守る会」が先頭に立ち、地域が一丸となって維持管理を行っています。

関連情報